

学校経営のビジョンと戦略を支援する参考図書の紹介（その2）

変わる学校、変わらない学校 実践編Ⅰ

「思いのない学校、思いだけの学校、思いを実現する学校」

～ビジョンとコミュニケーションの深化～

教育研究家 学校マネジメントコンサルタント 妹尾昌俊 著 学事出版

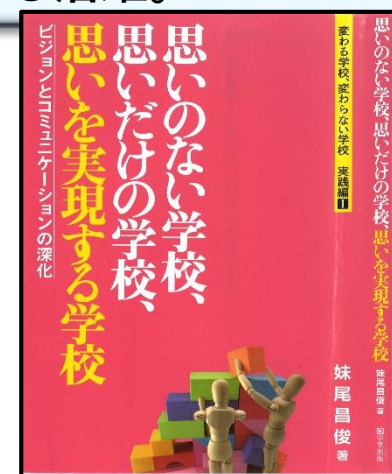
《著者紹介》

本書紹介にあたっては、出版社の許可をいただいています。

京都大学大学院修了後、野村総合研究所を経て、2016年から独立。文部科学省、全国各地の教育委員会・校長会等で、組織マネジメントや学校改善、業務改善、地域協働等をテーマに研修講師を務められています。

学校業務改善アドバイザー（文部科学省、埼玉県、横浜市他）、中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議」委員、NPO法人「まちと学校の未来」理事としても活躍。

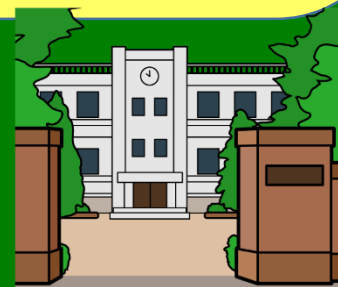
素晴らしいアイデアも、読んだり、聞いたり、考えたり、書いたりするだけではダメです。相手が動かなければ、学校も、その先の子もたちも変わりません。“The Knowing-Doing Gap” つまり、知ること、あるいは知った気になることと、行動に移せるようになることの間には、大きな溝があります。本書では、学校づくりに実践的なヒントを提供してくれており、行動に移す動機づけになるはず。学校の実行力・思いを実現する力を高めるために参考にしてください。



本書の主な内容

- 1 「わかっていても、実行できない」を超える
 - ① すばらしいアイデアだけではだめだ
 - ② 学校の「実行力」を高める三つのこと
- 2 あなたの学校にビジョンと戦略はあるか
 - ① 学校におけるビジョン、戦略をもつ意味
 - ② 学校の計画から見えてくるもの
(【ビジョンもどき】はさっさとやめろ)
- 3 あなたは何をもとにマネジメントしているか
(経験と勘? 数字と分析? それとも熱いハート?)
 - ① 企業流のマネジメントが学校で失敗するのは、なぜか
 - ② PDCAに囚われ過ぎてはいないか
 - ③ マネジメントには何が必要か
- 4 ビジョン・目標を立てたきりにしていないか?
(カリキュラムマネジメントと戦略実行)
 - ① カリキュラムマネジメントでビジョンを具体化し、軸を通す
 - ② 学力テストの平均点を重視しすぎていないか
(隠れたカリキュラムをあぶり出す)
 - ③ カリキュラムマネジメントの実行力を左右するもの

- 1) 当事者意識を高める。
 - ・「管理職が考えること」「先進地域ではあの人がいるからできたんだ」とよそ事と捉えない。
- 2) 予め先例から学んでおく。
 - ・子どもが関わるので学校は石橋を叩くことを重視しがち。
 - ・どう行動すればよいか、自分ならどう行動したであろうかをシミュレーションしておく。
- 3) 同志、仲間とともに小さな成功を見せる。
 - ・学校が変わるには3人必要。
 - ・小さなことでも子どもたちの変容を見せることができれば、職場の理解は変わっていく。



本書では、学校づくりのビジョンをもつこと、そしてそれを具現化するための手段として、学校におけるビジョンの具体化やカリキュラムマネジメントのあり方、そして教職員の中でのコミュニケーションをいかに深めていくかについて、具体的なケースもあげて説明しています。